スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

埼玉県白岡市

自 治 体 名 ： 埼玉県白岡市
担 当 課 名 ： 教育指導課
電 話 番 号 ： 0480-92-1111

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	24.88㎢
人口	52,195人
公立中学校数	4校
公立中学校生徒数	1,275人
部活動数（運動部活動のみ）	34部活
地域クラブ活動数	41クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	白岡市地域クラブ活動運営協議会【設置済】
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	白岡市　部活動　指導のガイドライン（中学校部活動・地域クラブ活動）【策定済】

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

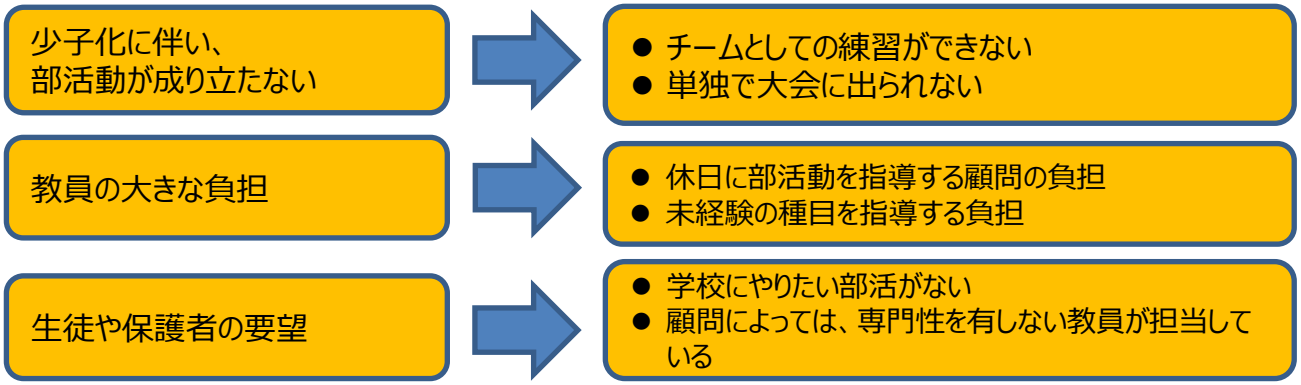
① 委託先団体（受け皿について）
令和3年度の実証開始から毎年委託先団体が変わっているため、実証で見えた課題を解決できずに次の委託先団体へと変わり、なかなか課題を解決できずにきている。一定期間の間、同じ委託先団体で実施し、課題の解決を図っていく。

② 指導者について
現在指導者数41名（市内在住の指導者25名、兼職兼業教職員11名、運営団体等5名）で、小・中学校の教職員による兼職兼業を認めている。兼職・兼業教員と地域指導者があった場合、 どちらを優先するのか。また、指導者の評価システムや研修制度をどのように構築するべきか等が課題となっている。

③ 活動時間及び活動日数について
中学校部活動と地域クラブ活動を統合した白岡市独自の部活動ガイドラインを策定している。地域クラブ活動が休日（土・日・祝日）行われることで、教職員の負担が軽減され、平日の教科指導も充実している。地域クラブ活動の活動回数は月4回で1日の 活動時間は1日3時間以内となっており、休日に行う練習試合や大会参加をどのように行っていくかが課題となっている。

④ 施設・用具の管理について
活動時に破損等が発生した場合に、修繕や新たな補充等の対応について調整が困難となることが懸念され、合同での活動の実施にあたっては、場所の確保や施設の管理、責任の所在等において調整が必要となる。

⑤ 受益者負担について
地域クラブ活動では、最終的には公費や補助金に頼らない地域クラブ活動の運営が望ましい。しかし、その分、保護者負担額は大きくなり、種目数の増減や参加人数によって、その都度金額を見直す必要も出てくる。

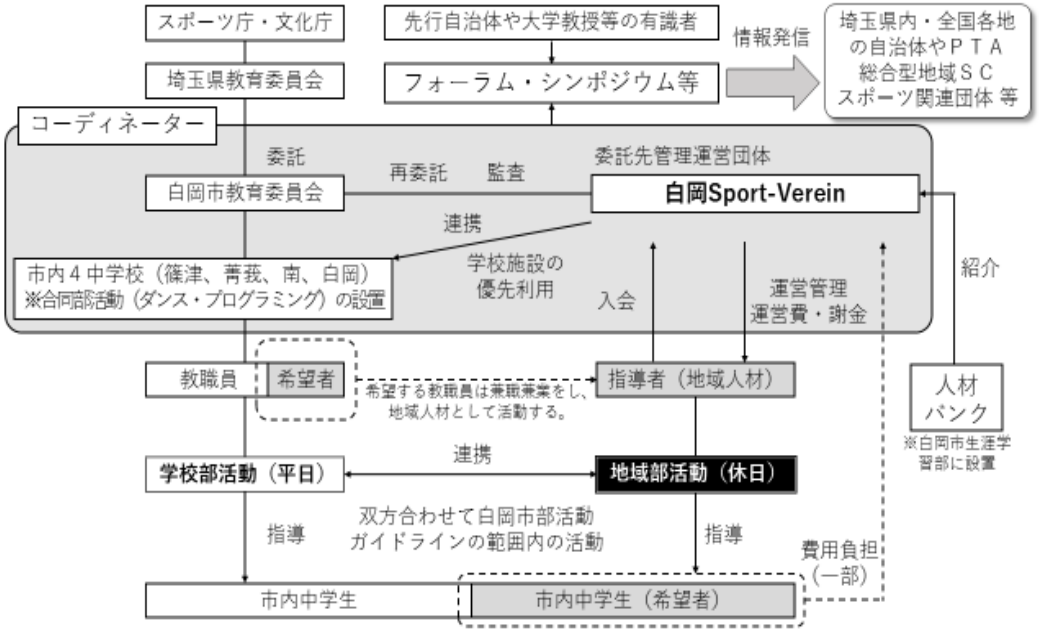


2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会（教育指導課）
- 委託先管理運営団体に再委託し、正しく運営管理（運営費・謝金等）がされているかを監査する。
- 地域クラブ活動コーディネーターを委嘱し、市内4中学校と委託先との連携及び地域の団体との連絡調整について、スムーズに進められるよう監督していく。

◉教育委員会（生涯学習課）
- ペアーズバンク（人材バンク）の管理・運営及び、市スポーツ団体との連絡調整、学校施設有効利用の今後の方向性の検討を行う。
- 教育指導課と情報を共有し、連携しながら進めていく。

年間の事業スケジュール

令和7年4月	新入生保護者説明会
令和7年5月	第9回地域クラブ活動運営協議会（5月庁舎火災により中止）
令和7年7月	第10回地域クラブ活動運営協議会
令和8年1月	中学校入学説明会に伴う地域クラブ活動保護者説明 白岡市地域クラブ活動推進事業業務委託公募型プロポーザル
令和8年2月	第１１回地域クラブ活動運営協議会
令和8年3月	保護者説明会

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	4校	実施した地域クラブ総数	34クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		34クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		1クラブ
全体の指導者数	36人	全体の運営スタッフ数	5人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
軟式野球（篠津中）	総合型地域スポーツクラブ	軟式野球	月4回	3時間以内	1年：5人 2年：6人	通年	篠津中（校庭）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
軟式野球（南中）	総合型地域スポーツクラブ	軟式野球	月4回	3時間以内	1年：5人 2年：8人	通年	南中（校庭）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
軟式野球（白岡中）	総合型地域スポーツクラブ	軟式野球	月4回	3時間以内	1年：5人 2年：8人	通年	白岡中（校庭）	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
サッカー（篠津中）	総合型地域スポーツクラブ	サッカー	月4回	3時間以内	1年：5人 2年：6人	通年	篠津中（校庭）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
サッカー（南中）	総合型地域スポーツクラブ	サッカー	月4回	3時間以内	1年：5人 2年：6人	通年	南中（校庭）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
男子バスケットボール（篠津中）	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール	月4回	3時間以内	1年：5人 2年：7人	通年	篠津中（体育館）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
男子バスケットボール（菁莪中）	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール	月4回	3時間以内	1年：2人 2年：7人	通年	菁莪中（体育館）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
男子バスケットボール（南中）	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール	月4回	3時間以内	1年：3人 2年：0人	通年	南中（体育館）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
男子バスケットボール（白岡中）	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール	月4回	3時間以内	1年：4人 2年：14人	通年	白岡中（体育館）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
男子ソフトテニス（篠津中）	総合型地域スポーツクラブ	ソフトテニス	月4回	3時間以内	1年：10人 2年：5人	通年	篠津中（テニスコート）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
男女ソフトテニス（菁莪中）	総合型地域スポーツクラブ	ソフトテニス	月4回	3時間以内	1年：2人 2年：6人	通年	菁莪中（テニスコート）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
男子ソフトテニス（南中）	総合型地域スポーツクラブ	ソフトテニス	月4回	3時間以内	1年：5人 2年：6人	通年	南中（テニスコート）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
男子ソフトテニス（白岡中）	総合型地域スポーツクラブ	ソフトテニス	月4回	3時間以内	1年：4人 2年：5人	通年	南中（テニスコート）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
男子卓球（南中）	総合型地域スポーツクラブ	卓球	月4回	3時間以内	1年：4人 2年：14人	通年	白岡中（体育館）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
男子卓球（白岡中）	総合型地域スポーツクラブ	卓球	月4回	3時間以内	1年：10人 2年：5人	通年	篠津中（テニスコート）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
剣道（篠津中）	総合型地域スポーツクラブ	剣道	月4回	3時間以内	1年：9人 2年：13人	通年	菁莪中（テニスコート）	2人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
剣道（南中）	総合型地域スポーツクラブ	剣道	月4回	3時間以内	1年：1人 2年：2人	通年	南中（テニスコート）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
剣道（白岡中）	総合型地域スポーツクラブ	剣道	月4回	3時間以内	1年：10人 2年：8人	通年	南中（テニスコート）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
女子バレーボール（篠津中）	総合型地域スポーツクラブ	バレーボール	月4回	3時間以内	1年：10人 2年：5人	通年	篠津中（体育館）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子バレーボール（南中）	総合型地域スポーツクラブ	バレーボール	月4回	3時間以内	1年：16人 2年：5人	通年	南中（体育館）	2人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子バレーボール（白岡中）	総合型地域スポーツクラブ	バレーボール	月4回	3時間以内	1年：11人 2年：5人	通年	白岡中（体育館）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子バスケットボール（篠津中）	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール	月4回	3時間以内	1年：0人 2年：4人	通年	篠津中（体育館）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子バスケットボール（菁莪中）	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール	月4回	3時間以内	1年：6人 2年：4人	通年	菁莪中（体育館）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
女子バスケットボール（南中）	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール	月4回	3時間以内	1年：6人 2年：4人	通年	南中（体育館）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子バスケットボール（白岡中）	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール	月4回	3時間以内	1年：6人 2年：10人	通年	白岡中（体育館）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子ソフトテニス（篠津中）	総合型地域スポーツクラブ	ソフトテニス	月4回	3時間以内	1年：9人 2年：9人	通年	篠津中（テニスコート）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子ソフトテニス（南中）	総合型地域スポーツクラブ	ソフトテニス	月4回	3時間以内	1年：7人 2年：11人	通年	南中（テニスコート）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子ソフトテニス（白岡中）	総合型地域スポーツクラブ	ソフトテニス	月4回	3時間以内	1年：5人 2年：5人	通年	白岡中（テニスコート）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
女子卓球（菁莪中）	総合型地域スポーツクラブ	卓球	月4回	3時間以内	1年：2人 2年：3人	通年	菁莪中（体育館）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子卓球（白岡中）	総合型地域スポーツクラブ	卓球	月4回	3時間以内	1年：12人 2年：5人	通年	白岡中（体育館）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子バドミントン（篠津中）	総合型地域スポーツクラブ	バドミントン	月4回	3時間以内	1年：2人 2年：10人	通年	篠津中（体育館）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
陸上（南中）	総合型地域スポーツクラブ	陸上	月4回	3時間以内	1年：12人 2年：5人	通年	南中（校庭）	2人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
女子ソフトボール（南中）	総合型地域スポーツクラブ	ソフトボール	月4回	3時間以内	1年：4人 2年：3人	通年	南中（校庭）	1人	5人（内、兼務5人）	月会費2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
合同ダンス	総合型地域スポーツクラブ	ダンス	月4回	3時間以内	1年：8人 2年：1人	通年	こもれびの森	1人	5人 （内、兼務5人）	月会費 2,500円	中体連： 部活動 その他： 地域クラブ

2.実証内容と成果

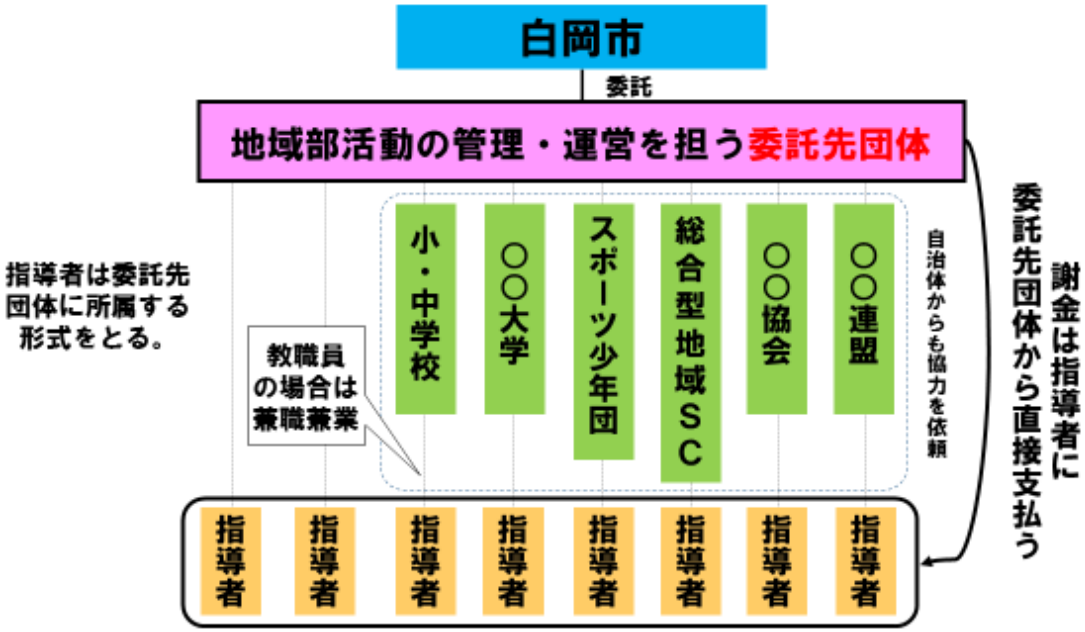
スポーツ庁

主な取組例

●白岡市地域クラブ活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球、サッカー、バスケットボール、卓球、ソフトテニス、剣道、バレーボール、バドミントン、ソフトテニス、陸上、ダンス
運営団体名	白岡Sport－Verein
期間と日数	全ての種目　通年 月4回（1日3時間以内）
指導者の主な属性	委託先団体所属の指導者
活動場所	各中学校体育施設（校庭・体育館）、市施設（生涯学習センター　等）
主な移動手段	徒歩、保護者の送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	全ての種目　月2,500円
1人あたりの保険料	Sgrum付帯保険 生徒1人あたり：50円/月 指導者1人あたり：50円/月

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



出典元：白岡市地域クラブ活動運営協議会資料

●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●統括責任者1名、運営補助者4名
　役割：指導者との連絡調整
　　巡回指導による地域クラブ活動サポート
　　生徒の出席状況の把握
　　保護者への連絡や緊急時の対応
　　Sgrumアプリの管理・運用

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 地域クラブ活動の運営・管理は、引き続き「委託」する。
- 市内中学校にコーディネーターを配置し、委託先、教育委員会、中学校との連絡調整等を行う。
- 指導者・生徒との連絡手段として、引き続きスマートフォンのコミュニケーションアプリ「Sgrum」を活用し、活動予定日の連絡、出欠席の確認を行い、「より効果的な活用方法」を実証し、スムーズな運営・管理を行っていく。
- 地域クラブ活動の円滑な運営及び実施に当たり、必要事項を検討するため、昨年度に引き続き「地域クラブ活動運営協議会」を実施する。
- 各スポーツ団体との連携、合同での活動の在り方等についての課題を検討していく。

取組の成果

- 今年度も引き続き、「運営団体への委託」で地域クラブ活動を進めていった。これまでは、毎年プロポーザルを行い、委託先団体の選定を行ってきたが、その結果毎年委託先団体が変わり、様々な課題が見えても解決しないまま次の委託先に変わるということを繰り返してきた。今年度は、引き続き同じ団体に委託することで、安定して課題に取組むことができた。
- 今年度も、コーディネーターを2名配置し、委託先、教育委員会、中学校との連携調整等を行った。コーディネーター2名を「地域クラブ活動運営協議会」の委員とすることで、コーディネーターとしての立場から様々な意見をもらうことが出来た。

今後の取組における課題

- 令和8年1月に、令和8年度以降の委託事業者選定を行い、新たな委託事業者に決定した。
- 軌道に乗るまでは、1つの運営団体への委託を続けていくが、将来的には全てを1団体に委託するのではなく、各種目で得意としているスポーツ団体等に分散して委託することが望ましいと考えている。活動できなくなるリスクを分散させる観点からも、今後「持続可能な地域クラブ活動」にするために、どのような形で行っていくことが望ましいかについて、様々な視点から検討を重ね、実施していきたい。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

- 委託事業者（代表理事）が地域クラブ活動における統括コーディネーター的な役割を全て行っていた。

① 地域の指導者の発掘・マッチング
② 地域クラブ活動の管理・運営
③ 学校・関係者間の連携や調整
④ 活動のPRや情報発信

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

- スマートフォンのコミュニケーションアプリ「Sgrum」に付帯している保険に参加者全員加入
- 委託先団体で指導者を対象にした研修を実施
（熱中症予防について、指導者のコンプライアンスについて　等）
- WBGT測定器を全ての種目の指導者に配付
（気温に加え、湿度、輻射熱の３要素から算出される熱中症リスク指数で熱中症の危険がある場合は適切な熱中症対策を講じる）

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- スマートフォンのコミュニケーションアプリ「Sgrum」を活用することで、委託先団体は生徒・指導者・部活動顧問との連絡調整がスムーズに行うことができた。
- Sgrumアプリの管理・運用の他、定期的なスタッフによる巡回サポートも行うことで、指導者からの意見の吸い上げや、活動の様子の把握、緊急時の対応等もスムーズに行うことができた。

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

- 活動中の生徒同士のトラブルや事故等の対応は、原則委託事業者が行う。管理責任の主体についても運営主体が負うが、教育委員会や学校とも情報を共有し、対応していく。
- 事故等が発生した場合は、保護者や関係機関等との適切な連絡・調整を行う。
- Sgrumアプリを活用し、何かあった場合はすぐに保護者に連絡できるような体制を取る。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

- 中学校の教員だけでなく、小学校の教員においても、指導者を募り、希望者は人材バンクに登録する。また、市の「広報」で広く周知し、指導者を確保していく。
- 指導者に対しては研修を行い、資質向上に努める。

取組の成果

- 年度初めの市内校長会の中で、今年度の地域クラブ活動計画とともに、指導者募集について説明した。また、小学校教員の中で興味がある者がいた場合、直接説明に行くことを周知した。
- 白岡市の広報で「地域クラブ活動指導者募集」の記事を載せ、地域に広く募集することができた。
- 「地域クラブ活動運営協議会」の中で、市内のスポーツ少年団の代表、スポーツ協会の代表に、地域クラブ活動の現状や課題を定期的に情報を提供できたことで、より協力を得ながらスムーズに進められるようになった。
- 指導者の研修を開催し、熱中症の対応や、AEDの配置場所の確認、その他地域クラブ活動の現状について共通理解することができた。

今後の課題と対応方針

- 令和6年11月から「市内全ての中学校での休日の部活動地域展開」を完了できたが、指導者の約半数が兼職兼業の教員となっている。
- 近隣市町が休日の部活動を継続している状況から、市外異動となった場合、兼職兼業の指導者は地域クラブ活動の指導者を継続できないおそれがある。また、人事の情報が公開されてから動く必要がある、すぐに指導者確保が困難な状況になる。
- 今後、「持続可能な地域クラブ活動」にするためにも、教員の指導者ではなく、地域の外部指導者を増やしていくことが必要。

課題への対応方針

- 地域クラブ活動の指導者を強く希望する教職員については兼職兼業を認めていきつつ、地域の外部指導者の人数を増やしていけるように、今後も引き続き指導者の確保に努めていく。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

- 大学生の活用促進のための地方公共団体と大学との組織的な連携
→日本工業大学の大学院生2名を合同プログラミングの指導者に採用
- 市の広報誌に指導者募集を掲載し、市内から広く指導者を募った。

指導者の資格取得促進に向けた取組

現在、具体的な取組は行っていないが、今後「地域クラブ活動」で中体連の公式戦（学校総合体育大会、新人戦　等）に参加するためには、種目によってはJSPOコーチライセンス1以上の取得者が1名以上いることが条件となっている種目もある。
指導者の資格取得促進に向けてどのような取組を行っていけるのか、来年度の「白岡市地域クラブ活動運営協議会」の中で、検討していきたい。

指導者総数	36人
資格所持指導者数	6人
本年度資格を取得した指導者	0人

平日・休日の一貫指導に関する取組

※「sgrum(アプリ）の活用」・・・指導者と顧問が別々の場所にいても、リアルタイムに状況を把握できる。

1. 情報共有のタイムラグをゼロにする
   - 一斉連絡機能:・・・練習の変更や遠征の連絡を、指導者がアプリから一括送信。顧問もその内容を同時に把握。
   - スケジュール管理: カレンダー機能で、練習日、試合日、会場情報を共有。変更があれば即座に全員のアプリに反映される。
2. 選手の「安全」と「体調」の可視化
   - 体調管理・検温報告: 選手（保護者）が入力した体温や体調を一覧で確認できる。
   - 出欠確認: 誰が休んでいるのか、その理由は何かをリスト形式で即座に確認できる。
   - 地域クラブ活動の練習内容を指導者が入力することで、部活動顧問もどんな練習をしたかを把握でき、平日の指導に生かすことができる。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

- 受益者負担を、すべての学校で休日の部活動が地域移行となる予定の令和6年11月から受益者負担を導入している。
- 受益者負担の金額について、一律とするべきなのか、種目ごとに変えるべきなのか、どの部分を保護者負担にして、どの部分を市で負担すべきなのか等も含めて検討した結果、現在は種目に関係なく「一律」で徴収している。
- 地域クラブ活動の協議会で、各スポーツ団体、学校、PTAと意見を交換したうえで、受益者負担の在り方について引き続き検討していく。

取組の成果

- 「白岡市地域クラブ活動運営協議会」の中で、受益者負担の在り方について検討し、各スポーツ団体、学校、PTA等からの意見を参考にしながら受益者負担額（月額2,500円）を決定し、令和7年1月から導入を開始している。将来的には委託費に係る費用全てを保護者負担で賄うことが望ましいが、保護者が負担する部分を指導者の謝金、指導者の交通費、アプリ使用料、生徒の保険料とし、その他の委託に係る経費については公費で負担することとした。
- これまで指導者謝金は、1時間当たり2,000円（吹奏楽を除く）、吹奏楽については1時間当たり3,500円としていた。また、指導者の交通費については、1日あたり一律1,000円としていた。しかし、運営協議会の中で受益者負担額を考える中、できる限り保護者の金銭的負担を減らすことが望ましいとの意見から指導者の謝金をスポーツ庁が示す地域クラブ活動指導員謝金の金額に合わせ、基本的には1時間当たり1,600円とした。また、指導者資格保有者や吹奏楽の指導者については1時間当たり2,000円とし、交通費については一律ではなく距離別とした。令和7年4月からは、指導者謝金を見直し、指導者謝金の中に旅費を含めることとした。
- 受益者負担は、コミュニケーションアプリ「Sgrum」の決済機能を使い、委託先団体が集金することとした。保護者は、クレジット決済かコンビニ決済を選ぶことができ、受益者負担についてはスムーズに運用できている。

今後の課題と対応方針

- 受益者負担の導入については、すべての保護者の理解を得るのが非常に難しく、今後も、引き続き保護者説明会等で周知していきたい。
- 「持続可能な地域クラブ活動」にするためには、今後保護者の受益者負担のみで活動できることが望ましいと考える。しかし、実際には、活動費について大きな負担に思っている方が多く、大きな課題として認識している。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等②

資料　**持続的な運営に必要な受益者負担額の試算**

受益者負担額　算出基準表（参考）③

【11月から】

参加生徒数
818×0.6 ＝ 490人　で計算
※運動部＋吹奏楽部となる　ので60%で計算

【※１回あたり２時間の場合】

※指導者４１人(37人+吹奏楽4人)

指導者人数×１回あたりの時間数（２時間）×月当たりの回数

1、謝金2,000円 吹奏楽謝金 3,500円の場合	月３回	222	×	2,000	=	444,000	528,000	円	指導者３７名
		24	×	3,500	=	84,000			吹奏楽指導者４名
	月４回	296	×	2,000	=	592,000	704,000	円	指導者３７名
		32	×	3,500	=	112,000			吹奏楽指導者４名
2、謝金1,600円 吹奏楽謝金 ２,８００円の場合 （×0.8倍）	月３回	222	×	1,600	=	355,200	422,400	円	指導者３７名
		24	×	2,800	=	67,200			吹奏楽指導者４名
	月４回	296	×	1,600	=	473,600	563,200	円	指導者３７名
		32	×	2,800	=	89,600			吹奏楽指導者４名
3、実績別の場合	月3回	210	×	1,600	=	336,000	412,800	円	通常指導者３５名
		12	×	2,000	=	24,000			元プロ指導者２名
		12	×	2,800	=	33,600			吹奏楽団２名
		12	×	1,600	=	19,200			吹奏楽通常指導者２名
	月4回	280	×	1,600	=	448,000	550,400	円	通常指導者３５名
		16	×	2,000	=	32,000			元プロ指導者２名
		16	×	2,800	=	44,800			吹奏楽団２名
		16	×	1,600	=	25,600			吹奏楽通常指導者２名

指導者人数×月当たりの回数

①旅費（交通費） 一律1,000円の場合	月３回	123	×	1,000	=	123,000	123,000	円	指導者４１名
	月４回	164	×	1,000	=	164,000	164,000	円	指導者４１名
②旅費（交通費） 距離別の場合	月３回	123	×	300	=	36,900	36,900	円	指導者４１名
	月４回	164	×	300	=	49,200	49,200	円	指導者４１名

参加生徒数

Sgrum使用料【生徒】 (使用料+保険+手数料)	月	490	×	300	=	147,000	147,000	円	

※「地域クラブ活動運営協議会」で算出基準表を示し、協議を重ねた。受益者負担の金額を月額2,500円とした。

※　第4回「白岡市地域クラブ活動運営協議会」資料から

参加割合	回数	受益者負担内訳	1＋①	2＋①	3＋①	1＋②	2＋②	3＋②
全員が参加 （４９０人）	月３回	謝金+旅費+Sgrum使用料	2,167	1,844	1,815	1,992	1,668	1,639
	月４回	謝金+旅費+Sgrum使用料	2,790	2,359	2,320	2,556	2,124	2,085
９割が参加 （４４１人）	月３回	謝金+旅費+Sgrum使用料	2,408	2,049	2,016	2,213	1,854	1,821
	月４回	謝金+旅費+Sgrum使用料	3,100	2,621	2,484	2,812	2,361	2,317
８割が参加 （３９２人）	月３回	謝金+旅費+Sgrum使用料	2,709	2,305	2,268	2,490	2,085	2,049
	月４回	謝金+旅費+Sgrum使用料	3,487	2,948	2,899	3,194	2,656	2,607
７割が参加 （３４３人）	月３回	謝金+旅費+Sgrum使用料	3,096	2,634	2,592	2,845	2,383	2,341
	月４回	謝金+旅費+Sgrum使用料	3,985	3,370	3,314	3,651	3,035	2,979
６割が参加 （２９４人）	月３回	謝金+旅費+Sgrum使用料	3,612	3,073	3,024	3,319	2,781	2,732
	月４回	謝金+旅費+Sgrum使用料	4,650	3,931	3,866	4,259	3,541	3,476

出典元：白岡市地域クラブ活動運営協議会資料

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等③

資料

- 現在、保護者が負担する部分を「指導者謝金＋指導者旅費＋アプリ使用料＋生徒の保険料」等を中心に事業費の一部を負担するとすることとしている。
- その他の運営費については、当分の間、公費で負担することとしている。

※　保護者説明会資料から

受益者負担について　Q&A③

Q 地域クラブ活動を運営していくために必要な経費のうち、どの部分を保護者が負担するのですか？

A

指導者に係る費用	運営に係る費用
・謝金	・アプリ(Sgrum）使用料
・交通費	・保険料
	・消耗品
	・運営スタッフ人件費
	・印刷製本費
	・通信費
	・その他諸経費

→ 公費で負担

※保護者の方には、生徒の活動に直接関係する部分の負担をお願いします！！

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ク：その他の取組

地域クラブ活動生徒数一覧表(種目別)　【別紙④】

種目	中学校	1年	2年	3年	合計
軟式野球	篠津中	5	6		11
	南中	5	8		13
	白岡中	5	8		13
剣道	篠津中	9	13		22
	南中	1	2		3
	白岡中	10	8		18
サッカー	篠津中	7	3		10
	南中	10	0		10
	白岡中	0	0		0
バレーボール(女子)	篠津中	10	5		15
	南中	16	5		21
	白岡中	11	5		16
バスケットボール(男子)	篠津中	5	7		12
	菁莪中	2	7		9
	南中	3	0		3
	白岡中	4	14		18
バスケットボール(女子)	篠津中	9	7		16
	菁莪中	0	4		4
	南中	6	4		10
	白岡中	6	10		16
ソフトテニス(男子)	篠津中	10	5		15
	菁莪中	2	4		6
	南中	5	6		11
	白岡中	4	5		9
ソフトテニス(女子)	篠津中	9	9		18
	菁莪中	0	2		2
	南中	7	11		18
	白岡中	5	5		10
卓球(男子)	南中	7	6		13
	白岡中	10	3		13
卓球(女子)	菁莪中	2	3		5
	白岡中	12	5		17
吹奏楽	篠津中	17	13		30
	菁莪中	1	3		4
	南中	13	12	10	35
	白岡中	10	15		25
バドミントン(女子)	篠津中	2	10		12
陸上	南中	12	5		17
合同ダンス	全校	8	1	3	12
合同プログラミング	全校	2	3	2	7
合計	篠津中	83	78	0	161
	菁莪中	7	23	0	30
	南中	89	62	10	161
	白岡中	77	78	0	155
	合同	10	4	5	19
	合計	266	245	15	526
ソフトボール	南中	4	3		7

調査日　1月21日現在

運営団体：白岡Sport-Verein

1　合同での活動

（運営協議会資料から）

左図で青色をつけた部活動は、市内全体で20名前後の部員となっており全国同様の傾向となっているある種目である。
　こうした少人数の活動では、紅白戦での戦術練習もできずチーム力の向上について影響が出ているのではないか。
　実際、サッカー部はそれぞれ蓮田市・杉戸町と合同チームで活動中である。このため、移動距離の課題もあるので市内での合同チーム活動が望ましいと考える。
合同部活動として人的要因を確保でき、生徒間の交流が深まり切磋琢磨できる環境となることから生徒のスキルアップに期待ができる。
　一方、赤色で囲った部活動では、特に1年生の参加が少ないことから、来年度以降の存続について不安が残る。
このため、赤色の種目についても市内近隣校との合同部活動とすることによって、同様の効果が期待できる。
　実際、バスケットボールでは菁莪中と南中の合同チームで1年生大会に参加している。

2　拠点での活動

**緑色の種目は、市内で1校のみの活動となっている。
このため、拠点校指定により、転校手続きは不要のままで他校から週末の地域クラブに参加できる環境を整備することで、市内全校から参加が可能となり充実した活動となる。**

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ク：その他の取組

合同や拠点校での活動（案）

1　合同での活動（案）



軟式野球
篠津中
南中
白岡中



サッカー
篠津中
南中



ソフトテニス
南中
菁莪中



バスケットボール
南中・菁莪中
篠津中・白岡中



剣道
南中
白岡中



吹奏楽
南中
菁莪中

合同での活動は、市内すべての中学校から参加することができて、市内全生徒が週末は自校の活動がない種目に参加することができる。

（運営協議会資料から）

2　拠点校での活動（案）



女子ソフトボール
南中



バドミントン
篠津中



陸上競技
南中

拠点校活動は、平日の活動とは異なる活動で指定校となる学校で好きな種目の活動に参加することができる。

3　新たな合同部活動（案）

生徒・児童からのアンケート調査を実施しているので、これらを参考として、運動・文化ともに、あらたな活動を提案していきたい。

学校部活動にない新たな種目で、週末は平日とは異なる活動に参加できる。

4　平日の放課後活動の検討

スポーツ庁の方針では、補助事業を決定するにあたり、週末活動はもとより、平日の活動を実施する自治体を優先して補助対象としている。

このため、モデル校を指定して平日活動にも取り組む姿勢が重要となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ク：その他の取組

【保護者配布資料】

白岡市地域クラブ活動　今後の活動について

→ 合同練習、拠点校での活動を９月以降「実証」していきます。

白岡市教育委員会では、令和3年度から「休日の部活動地域展開」を進めており、令和６年１１月から市内中学校４校全てで地域展開を完了しました。
現在は、すべての中学校で学校部活動単位での活動を行っておりますが、種目によっては参加人数が少なく紅白戦などの戦術的な練習ができない種目や、生徒数の減少により今の形のままでは将来的に維持できないクラブが考えられます。また、ある程度の人数を確保することで練習内容の幅が広がることや、他校の生徒と一緒に練習することで部活動とは違った環境で活動できるなどのメリットが考えられます。
今後は、国（スポーツ庁）が示しているように、学校単位ではなく「地域で活動を展開していく」ために、月１回程度の「合同練習」を実施しながら、合同での活動、拠点校での活動を検討していきます。

①　合同練習の実施

- 野球（鷲宮・南・白岡）【実証】※月１回程度
- サッカー（鷲宮・南）【実証】※月１回程度
- 男子バスケット（菁莪・南）４月から実施済 ※菁莪中体育館使用
- 男子ソフトテニス（久喜・南）【実証】※月１回程度
- 剣道（南・白岡）【実証】※月１回程度
- 男子バスケット（鷲宮・白岡）【実証】※月１回程度
- 吹奏楽（菁莪・南）11月以降実施 ※南中音楽室使用

※実証「合同練習」は、表示の種目・学校が対象です。
会場は、今後指導者間で調整していきます。

【今後の流れ】

1. ９月以降に日程調整ができた種目ごとに月１回程度の「合同練習」を実施（実証期間は、９月から３月まで）
2. １２月下旬に、実証を行った種目の参加者・保護者・指導者を対象にアンケート調査を実施
3. アンケート調査の結果をもとに、「地域クラブ活動運営協議会」の中で令和８年度以降の合同での活動を検討
4. 令和８年度４月から合同での活動を開始（運営協議会での検討結果をもとに決定）

②　拠点校での活動

・・・市内に１校しかない種目については、「拠点校」として、全ての中学校の生徒が参加できるようにしていきます。

- 陸上（南）拠点校として実施（１０月から参加可）
- ソフトボール（南）拠点校として実施（１０月から参加可）
- 女子バドミントン（菖蒲）拠点校として実施（１０月から参加可）

【今後の流れ】

→　１０月から、市内すべての中学校の生徒が、上記の種目に参加することができます。（休日の地域クラブ活動のみ）
※　参加希望者は、コミュニケーションアプリ（Sgrum）から登録をする必要があります。

9

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

昨年度、本市では「休日の部活動の地域展開」を完了し、令和7年1月からは、受益者負担を導入できた。

今年度は、引き続き安定的に活動を確保するとともに、新たな実証を行いながら、「持続可能な地域クラブ活動」の実現に向けて取組んでいった。

今年度、特に力を入れた取組として合同練習や拠点校での活動の実施が挙げられる。

各校にある部活動単位での地域展開を進めた結果、種目によっては人数が少なく、思うような実戦練習ができない種目や、人数が少ないために活動自体が維持できない種目もあり、どのような形で地域クラブ活動を実施していけばいいのかは喫緊の課題である。

そのため、月1回程度の「合同練習」を実施し、実証を行った。合同練習をした結果、平日の部活動ではできない練習や、実践的な紅白戦等、人数が増えたことで練習の幅が広がった種目や、他校の生徒と交わることで良い刺激を受けたという前向きな意見も多くあった。

来年度以降も、引き続き「合同練習」を実施し、活動のあり方について、地域クラブ活動運営協議会の中でも協議を重ねていきたい。

●成果の評価

- **教職員の負担軽減**
  土日の部活動指導から解放されることで、教員が本来の業務である教科指導や教材研究に集中できる環境が整いつつある。
- **生徒の選択肢と交流の拡大**
  自校にない種目でも、市内合同の地域クラブであれば参加可能となっている。また、令和7年度10月から「拠点校による活動」を導入し、活動の選択の幅を着実に広がっている。
- **合同練習の実証**
  学校の垣根を越えた人間関係が築かれ、多様な刺激を受ける機会が増えている。
- **専門的な指導の実現地域の専門**
  コーチや競技経験者が指導することで、技術向上の機会が担保されている。
- **少子化への対応**
  単独校ではチームが組めない状況（廃部の危機）を、地域全体で受け皿を作ることで回避できている。

●今後に向けて

- 合同練習の実証（継続）・・・月1回程度の合同練習を継続し、合同で練習するメリット・デメリットを把握し、今後の合同の在り方について「地域クラブ活動運営協議会」で検討していく。
  （生徒、保護者、指導者へのアンケート調査の実施）
- 拠点校での活動の実施・・・拠点校での活動を認めているが、現在生徒の参加実績はない。今後も周知を徹底し、広く参加が募れるように進めていきたい。
- 新たな種目の創出・・・新たな種目「合同硬式テニス」の実施に向けて、体験会等の実施を進める。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

参考資料



【白岡　女子バレーボール】



【南　剣道】



【南　男子ソフトテニス】



【合同ダンス】

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス①

	Hop	Step	Jump
	令和3年度（2021年度）	令和4年度（2022年度）	令和5年度～（2023年度）
地域部活動企画委員会発足	**実証導入** 市内4中学校 運動部5 文化部2 ＋α	**実証実施(9月～)** 市内2中学校 希望する 部活動で移行 （合同部活動も開始） ※9部活＋合同4部活	**継続実施(12月～)** 市内4中学校 ・2校→休日実施全ての部活動 ・2校→希望する部活動で移行 ※22部活＋合同2部活
	モデル事業として試験的に導入実施する。現在の部活動に大きな影響がない範囲で実施する。	令和3年度より規模を拡大し、実施する。 ※受益者負担なし	※2校が先行して休日の部活動を地域クラブ部活動として実施する。 ※1年遅れで2校が追いかける形で進めていく。

中学校部活動：中学校の教職員が指導者（顧問）となる現行の部活動
地域クラブ部活動 ：地域人材が指導者（コーチ）となるクラブ活動
※これまでの外部指導者とは違い、中学校の教職員が立ち会わなくても単独で指導が可能となる。地域人材として、地域のクラブ指導者や保護者、退職教職員の他、現役の小・中学校の教職員が兼職兼業として指導にあたることも考えられる。

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス②

【現在（令和7年度）の取組状況】

- 令和6年11月から、休日の「部活動の地域展開」を完了
  （白岡市内全ての中学校の休日の活動は「地域クラブ活動」）
- 令和7年1月から、保護者の受益者負担を導入
  （事業費の一部を保護者に負担してもらう…月額2,500円）
- 平日の地域展開に向けた実証（篠津女子バレーボール）
- 「合同練習」の実施（月1回程度）
- 「拠点校」での活動
- 学校の部活動にはない種目、新たな種目の検討（硬式テニス）

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国	改革推進期間		改革実行期間(令和12年度まで)		
教育委員会	●令和6年11月から市内4校すべての中学校で地域移行 (運動35、文化4、合同2) ・「持続可能な地域クラブ活動」にするための実証・検証期間 ・種目ごとの活動形態の実証・検証(合同での活動、複数団体での活動等) ・種目の特性や活動人数による指導者数見直し ・学校部活動のガイドラインの見直し ・生徒や保護者への周知活動 ・定期的な実態調査と見直し		スポーツ庁が10月23日に公表した「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ骨子案では、令和8年度から令和12年度までの6年間を「改革実行期間」に位置付け、「地域クラブ活動」を平日にも拡大する中間とりまとめ骨子案を示した。 ●令和6年11月から市内4校すべての中学校で地域移行（運動35、文化4、合同2) ・「持続可能な地域クラブ活動」にするための実証・検証期間 ・種目ごとの活動形態の実証・検証（合同での活動、複数団体での活動 等） ・種目の特性や活動人数による指導者数見直し ・学校部活動のガイドラインの見直し ・生徒や保護者への周知活動 ・定期的な実態調査と見直し		目指す姿 平日も含めた部活動の地域移行
委託先	●総合型地域スポーツクラブへの委託 ・課題の整理と見直し ・課題解決のための方策の検討・実施	プロポーザル（1月）	●1団体委託から段階的に多団体への移行の検討・ ・課題の整理と見直し ・課題解決のための方策の検討・実施		